

持続可能な事業活動へ向けた一歩 業務用車両に「カーボンクレジット付リース」を導入 ～J-クレジット制度を活用～

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO: 小沼直人、以下アクティオ)は、2025 年8月5日(火)から環境負荷削減を目指し「カーボンクレジット付リース」を導入いたしました。初めの取り組みとして、経年が長く、距離也多走行となっている業務用車両 107 台を対象に環境性能の高い車両への入れ替えと同時に CO₂排出量を相殺し、温室効果ガスの削減を目指します。



カーボンオフセットは、日常生活や経済活動で排出される温室効果ガス(CO₂など)について、削減努力をした上で、どうしても避けられない排出分を他の削減活動や森林整備への投資などによって埋め合わせるという考え方です。日本では、2008 年に「オフセット・クレジット(J-VET)制度」が創設され、2013 年度からは国内クレジット制度と統合し、「J-クレジット制度」として発展しました。

この制度は、環境省、経済産業省、農林水産省が運営し、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用、森林管理などによる温室効果ガスの削減・吸収量を「クレジット」として認証するものです。2023 年 11 月時点で 70 の方法論が認定されており、家庭や中小企業、自治体による省エネ・脱炭素投資を支援しています。「クレジット」の活用により、国内での資金循環を促進し、環境と経済の両立を目指しています。

今回、アクティオが導入する「カーボンクレジット付リース」の取り組みは、「J-クレジット制度」を活用して年間で CO₂排出量を 454t^{*1}削減でき、スギの木で換算すると 32,334 本の吸収量、レジ袋で換算すると 13,620,000 袋の削減効果に相当します。

^{*1} より環境性能の高い車両への入れ替え(約134t)＋カーボンオフセット(約 320t)の合計

アクティオは、今後も持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。

■「カーボンクレジット付リース」業務車両、外観

導入する車両は、側面と後ろ側にステッカーを貼付しています



【車両側面】



【側面ステッカー】



【車両後方】



【リアバンパーステッカー】

■カーボンクレジット付リースの仕組み



モビリティサービス会社・日本カーソリューションズ株式会社(NCS)は、大手総合リース会社・東京センチュリー株式会社と連携し「カーボンクレジット付リース」を提供しています。この仕組みは、東京センチュリー株式会社が J-クレジット(カーボンオフセットに使えるクレジット)を購入し、それをリース契約に組み

込みます。リース期間中にリース車両が排出すると見込まれる CO₂を、J-クレジットで相殺(オフセット)する仕組みです。

東京センチュリー株式会社は、CO₂のオフセット手続きを行い、その証明として「無効化通知書」をリース契約先のアクティオに発行します。このサービスにより、アクティオは、環境負荷を削減しながら車両の利用が可能となります。

■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』(算数とハートの経営 2014 年 幻冬舎)。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。

アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp